

<関係法令等>

- 日本国憲法
- 教育基本法
- 学校教育法
- 学習指導要領 等

<学校の教育目標>

人間尊重の精神を基盤にして、心身ともに健康で知性と感性に富み、広く国際社会において、信頼と尊敬を得られる人間性豊かな児童の育成を目指す。

- すすんで学ぶ子供
- 仲良く助け合う子供
- 健康で明るい子供

<願い>

- 児童の願い
- 保護者の願い
- 地域の願い
- 教職員の願い

<各教科の指導の重点>

基礎学力の向上を図りながら、児童の興味や主体性を重視した授業を工夫し自ら学ぶ意欲と態度を養う。

国語：適切に表現し正確に理解する能力を育てるとともに伝え合う力を高める。

社会：社会生活についての理解を図り、公民的資質の基礎を養う。

算数：日常の事象について見通しをもち筋道を立てて考える能力を育てる。

理科：自然の事物・現象についての理解を図り、科学的な見方や考え方を養う。

生活：具体的な活動や体験を通して、自立への基礎を養う。

音楽：音楽活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。

図工：造形的な創造活動の基礎的な能力を育て、豊かな情操を養う。

家庭：家庭生活への関心を高め、実践的な態度を育てる。

体育：運動に親しむ資質や能力を育て、健康の保持増進と体力の向上を図る。

<学校経営方針>

教育目標達成のため、学校規模の特性、施設の特色、地域の特性を生かし、「笑顔かがやく光っ子、みんなで育てる光っ子」を合い言葉に、かかわりを大切にしたい教育活動を目指す。

- 児童にとっては、「通ってよかった学校」
- 教職員にとっては、「勤めてよかった学校」
- 地域、保護者からは「通わせてよかった学校」

<光が丘第八小学校における学力観>

「すすんで学ぶ子ども」の育成を重点的にとりあげ、基礎学力の向上に努めるとともに学ぶ喜びを味わえる指導を工夫し、主体的に問題解決に取り組む児童の育成を目指す。そのために、本校で伸ばしていこうとする児童一人一人の能力を次のように考える。

- 基礎・基本としての知識、技能
- 学ぶ意欲
- 自ら課題を見付ける力
- 自ら考える力
- 主体的に判断する力
- よりよく問題を解決する力

<道徳教育の指導の重点>

道徳的価値の自覚を深め、道徳実践力を培うことにより、思いやりのある心豊かな人間性を育てる。

<特別活動の指導の重点>

望ましい集団活動を通して、児童の自主性や社会性を育てる。

<生活指導の指導の重点>

集団生活を通して、人と協調することを学び、自主的に考え正しく判断する力を養うとともに、地域の行事にも積極的に参加し、意欲的に活動する態度を育てる。

<進路指導の指導の重点>

児童の自己理解を援助し個性や能力を伸ばして伸ばしようにする態度を育てる。

<総合的な学習の時間の指導の重点>

自ら課題を見つけ、それを主体的に追究し、生活などに活かす活動を通して、自己の生き方を考えることができるようにする。

<外国語活動の重点>

外国語を通じて異文化に対する理解を深め外国語の表現に触れることでコミュニケーション能力を養う。

<区学力調査の結果から>

今年度6年生の区学力調査の結果を分析する。

<授業改善に向けての取り組み>

指導内容・方法の工夫	教育課程編成の工夫	校内研究・研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域との連携
・年間を見通した指導計画を作成し、随時点検、修正、改善をおこなう。 ・少人数指導、サブティーチャーの活用できめ細かい指導を図る。 ・習熟の時間を設け、基礎的・基本的な内容の定着を図る。 ・日常の各教科の学習で、言語活動を促す。 ・学習課題に対する興味関心を高める指導の工夫に努める。 ・習熟度別指導を計画的におこない、個に応じた指導の工夫に努める。 ・実物投影機などを活用し、視覚的な情報を提示し、理解を深める。 ・学校図書館を効果的に活用する。	・授業時数を確保する。 ・朝自習、習熟の時間を計画的におこない基礎的・基本的な内容の定着を図る。 ・朝読書を定期的におこない、児童の読書に親しむ時間を確保する。 ・マラソン大会、大縄集会、短縄集会を実施し、全校で取り組める活動を設定し児童の体力増進を図る。 ・学習効果が発揮され児童に負担過重とならないように、行事を組んでいく。 ・教育実践をするにあたり、学習活動が有効であったかどうかを振り返り、行事や会議を精選していく。 ・特別支援教室を設け、個別に配慮が必要な児童の支援を、校内体制でおこなう。	・”受け取る力、伝える力”を伸ばす視点から各教科の指導法を学び研究し授業改善を進める。 ・研究授業をおこない、共通の視点を定め、授業を検証する。 ・研究授業以外でも授業を公開し合い学ぶ合う。 ・外部講師を招き指導助言を受け、研究の成果を確認したり、授業実践に生かす視点を整理したりする。 ・他校の研究発表に学ぶ。 ・外部の研修会や研究授業に参加し指導力の向上に努める。 ・全教員参加の生活指導研修会を実施し児童一人一人に対する理解に努める。 ・定期的、継続的にOJTを企画、実施する。	・各教科における評価計画及び評価標準表の見直しを図り、適切な評価活動をおこなう。 ・評価の重点化を図り、児童の学びの姿に応じた支援内容を工夫する。 ・学習カードの活用により個の見取りの充実や学習活動について児童自身が振り返る自己評価の力の育成に努める。 ・校内研究に基づいた継続的な評価活動をおこない、指導に生かしていく。 ・外部評価や行事・学校公開での保護者からの評価を生かして、教育活動への改善に努める。	・学校経営方針や様々な情報を文書・保護者会・ホームページなどで提供し協力を求める。 ・学校便り・学年学級便り・保護者会を通して互いに連携し合い、児童の生活習慣の確立や家庭学習の習慣化などの定着を図る。 ・地域のボランティアの方々をゲストティーチャーとして活動をおこない効果的かつ有効的な教育活動に取り組む。 ・保護者、地域防災連絡会との連携のもと、防災教育を実施する。 ・餅つき大会、地域清掃など地域の方々との体験的活動を実施する。 ・道徳地区公開講座の実施 ・保育園とかかわり ・光が丘公園の活用 ・外部評価や授業公開学校行事での保護者地域の方々の評価を教育活動に生かしていく。